

2019年度みじん子賞を受賞して

いわき市立夏井小学校 校長 角 田 健 司
小野町立夏井第一小学校 校長 大 山 俊

1. はじめに

この度は、榮譽ある「みじん子賞」をいただき、誠にありがとうございました。このような賞をいただけたことは、夏井小学校、夏井第一小学校、そして、様々な面でご支援いただいた夏井川流域の会をはじめ関係者各位にとってこの上ない喜びであります。本実践に関わっていただいた方々を代表して御礼申し上げます。

2. 夏井川環境学習の歩み

私たちの取り組みは、東日本大震災の翌年より「夏井川環境学習」を柱とした夏井小学校と夏井第一小学校の交流活動として始まりました。その前までは、それぞれの学校で夏井川の水質調査を行っていました。東日本大震災をきっかけに、子ども達は、空間的な広がりの中での環境問題に目を向けるようになり、夏井川の河口と上流の環境はどのような違いがあるのかという疑問を次第にもち始めました。この疑問が、夏井川の上流と下流にある同じ「夏井」の名前をもつ2校を結びつけることになったのです。夏井第一小学校は夏井川源流のある小野町に位置し、夏井小学校は夏井川河口のあるいわき市夏井地区に位置します。夏井小学校は5年生、夏井第一小学校は5、6年生が中心に水環境の調査活動をしており、毎年30～40名ほどが参加しています。夏井川に関わりの深い学校同士で「大切な夏井川の環境を守っていく」ということを目的に、1年ごとにお互いの学校に行き来して、それぞれの調査結果を共有して上流と下流の水環境について話し合ったり、体験活動を行ったりしてきました。

3. これまでの主な活動

〈活動1〉夏井川支流（新川）源流水質調査（夏井小）

今年度6月末、夏井川流域の会の協力の下、いわき市内の夏井川の支流「新川」の水源、白水阿弥陀堂前、市街地の中の芸術文化交流館アリオス前と夏井川河口を見学し、4地点の水質調査を行いました。また、河口では乗船体験やカニ釣りなどの体験を通して水に親しむ体験活動を行いました。

〈活動2〉夏井川上流水質調査（夏井一小）

昨年度までは7月ごろ、夏井川流域の会の協力を得て、

夏井第一小学校前を流れる夏井川の水生物調査や斜度と流速の関係など、流れる水の動きについて学ぶとともに、川で溺れた時の泳法や救助方法などについても学習しました。本年度は、川に親しむ活動としてカヌー体験を行いました。

〈活動3〉夏井川環境交流学習（夏井小、夏井一小合同）

今年度は、9月に夏井第一小学校を会場にして、2校の児童が集まり夏井川上流の水質調査を中心とした交流学習（写真1）を行いました。まず、夏井川の源流にある仙台平ドリートと入水鍾乳洞、分谷水を見学して、夏井川の流れについて夏井川流域の会の方々に教えていただきました。その後、夏井第一小学校前の夏井川上流で、2校の児童が協力しながら水生物の調査を行いました。また、夏井川流域の会の方に用意していただいた水を使って、夏井川の流域ごとの水質比較を行いました。

昨年度は、10月に夏井川下流での交流学習（写真2）を行いました。いわき市小川町の夏井川での水生生物観察や河口でのカニ釣り体験などを行い、最後は、いわき海浜自然の家を会場に水質検査結果の情報交換等を行い、児童同士の交流を深めました。

4. 終わりに

私たちのこの活動は、夏井川の上流と下流に位置する2つの小学校が交流しながら環境学習を行う単一校の枠を超えた取り組みです。上流に位置する夏井第一小学校にとって夏井川は千本桜で知られる有名な観光名所であり、下流に位置する夏井小学校にとって夏井川は愛谷江筋の水源として生活に欠かせない大切な存在であります。東日本大震災をきっかけに、8年を経過する長期にわたる継続した取り組みで、児童が互いの学校に行き来しながら、夏井川流域の会の協力のもと、水生物調査や水質測定を続け、水環境のモニタリングと水環境保全活動に取り組んで来ました。また、ボート下りやカニ釣りなどの親水活動を通して川を身近に感じる事ができました。私たちにとって非常に有意義なこの活動を継続できたのは、行政や地域住民、関係団体の支援があったのと考えます。いわき市・小野町が地域一体となり、これまでこの活動を支えてくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。



写真1 夏井川上流での交流学習（水生生物調査）



写真2 夏井川河口での交流学習（河口見学）